

平成27年第8回横手市議会12月定例会  
一般質問要旨

■ 一般質問の日程

平成27年12月7日（月）～9日（水） 本会議

※午前10時、開会の予定です。

■ 一般質問の順序

期日	順番	議席番号	議員名	頁
7日	1	12番	奥山豊和議員	1
	2	26番	佐々木誠議員	2
	3	15番	土田祐輝議員	3
	4	10番	青山豊議員	4
8日	5	9番	播磨博一議員	5
	6	14番	菅原正志議員	6
	7	11番	加藤勝義議員	7
	8	3番	立身万千子議員	8
9日	9	7番	土田百合子議員	9
	10	24番	齋藤光司議員	10
	11	4番	齋藤勇議員	12

# 1. 【12番 奥山 豊和 議員】

## 1. ふるさと納税制度を活用した地域ブランドの確立と地方創生の実現に向けて

- 1) ふるさと納税に対する返礼品について。
  - ① 返礼品を贈ることの目的と品目を選ぶ上でのねらいは何か。
  - ② 他自治体に比べ返礼品を贈ることには慎重であったが、遅れをとった分の横手市の独自性や優位性についてどのように考えているか。
  - ③ 返礼品贈呈後の効果と反響は。税収のみならず総合的な視点での分析について伺う。
  - ④ 今後、ポイント制を導入する考えはないか。
  - ⑤ 地域ブランドの確立向上、交流人口の拡大に結び付けるためのふるさと納税制度・返礼品の活用の仕方について伺う。
- 2) 「横手市応援市民」の拡大に向けた取り組みについて。
  - ① 「応援人口拡大事業（地方創生先行型）」とふるさと納税制度の関連性について伺う。
  - ② 策定中の「横手市人口ビジョン」等における応援市民の位置付けと概念について伺う。
  - ③ ふるさと納税を通じて横手市をご支援頂いている方々の気持ちに報いるために、お預かりした寄付金をどのように活かしていくのか。使い道を決める上での市長の想いを伺う。
  - ④ 応援している実感をより得られるような取り組みをさらに踏み込んで行うべきと考えるが、具体的な構想を伺う。

## 2. 【26番 佐々木 誠 議員】

### 1. 農政について

- 1) 農協で販売した肥料に、成分の表示と中身が違っている肥料があり、大きな問題となっている。農産物の販売にも影響が出ているようである。市では現在の状況をどのように捉えているのか。また、今後の市の対応について伺う。
  
- 2) 今年はカメムシの被害による着色粒が多く、品質の低下が見られた。市長は所信説明で「品質の向上に取り組みたい。」と述べられたが、現在考えられる対策について伺う。

### 2. 農業委員会について

- 1) 農業委員会の月一回の総会は平鹿生涯学習センターで開催されている。事務担当者は総会の度に南庁舎から移動するわけであり、効率の面から事務局は平鹿地域局に置いた方が良いと思うが、市長の所見を伺う。

### 3. 【15番 土田 祐輝 議員】

#### 1. 企業誘致について

- 1) このところ企業進出が続いている。これまでの努力に敬意を表しつつ、どのような取り組みが実績につながったと考えているのか。
- 2) 地元進出企業の増築が増えているようだが、日常業務の中で行政と企業間の情報共有は図られているのか。
- 3) 当市でも企業振興には手厚い優遇策が講じられている。今後、より実効性のある時流に沿った施策を講ずるとすればどのようなものが考えられるか。
- 4) 新たな事業所進出には地元の人材がいるかが大きなカギを握る。そういう意味で周辺の実業高校の充実は欠かせないものとするが当局の見解と推進策を伺う。
- 5) 企業誘致は息の長い継続性が必要であり、市長のトップセールスにおいてもこれまで培った人脈が大きな財産になる。市長として当市の企業誘致や経済活動をどのように総括されているのか。

#### 2. 当市を取り巻くインフラ整備について

- 1) 国道13号の4車線化と金沢バイパスの可能性について。
- 2) 秋田新幹線のフル規格と横手延伸に係る現況について。
- 3) 国道107号の整備、高規格化の促進について。
- 4) 高速道十文字IC～横手IC～横手北IC間の利用促進策と、経済対策として利用料金の減額等は考えられないか。

## 4. 【10番 青山 豊 議員】

### 1. 市長の政治姿勢について

- 1) 市長就任から2年、任期の半分が経過した。就任時に掲げられた5つの政策の柱について、現時点での総括と今後の課題について伺う。

### 2. 市職員と地域社会の関わりについて

- 1) 今後の行政運営において「協働」等がますます求められる中、市職員の地域社会に対する貢献活動は重要だ。それを踏まえて、以下質問する。

① 市長が思い描く「地域社会との関わりの中での市職員の“あるべき姿”」について伺う。

② 「横手市職員地区担当制度」の成果と課題について伺う。

## 5. 【9番 播磨 博一 議員】

### 1. 投票率向上対策について

- 1) 全国的に選挙の投票率低下が問題となっているが、横手市の最近の傾向とその分析はどのようになっているか。
- 2) 期日前投票所の利便性向上について。
- 3) 投票所統合の結果分析と今後の見通しについて。
- 4) 来年度に予定されている参議院選挙から、18歳までに選挙権年齢が引き下げられる。このことによって見込まれる有権者の動向はどうか。また、横手市にとって、その意義と効果をどのように考えているか。

### 2. TPPについて

- 1) 大筋合意したTPP交渉を受けて大手通信会社が全国首長アンケートを行ったようだが、回答したとしたら、その内容について伺う。
- 2) 横手にとって現段階で予想されるメリット、デメリット、さらにはトータルではどうか。また、その対応について伺う。

### 3. 偽装肥料問題について

- 1) 特別栽培米を中心に県内農産物の信用が大きく傷つく状態になった。横手市への影響とその対応について伺う。

## 6. 【14番 菅原 正志 議員】

### 1. 組織再編の評価について

- 1) 地域局がまちづくり推進部に編入され、以前に比べて活動がしにくくなったのではないかと思われる。地域局の現状に合わせた権限と、裏付けとなる財源を付与すべきではないか。
- 2) 企画部門と財政部門とが同じ総合政策部の中にあることによって、行財政のバランスがとりづらくなっているのではないか。
- 3) 生涯学習や社会教育など教育委員会とのかかわり方に不具合はないか。
- 4) PDCAサイクルはどう活かされているか。

### 2. 農業対策について

- 1) 担い手対策をより充実させて耕作放棄地の増加を防ぐべきと考える。対策の強化をどう考えるか。
- 2) 適地適作を推進するための対策は何か。
- 3) 強風被害を受けたりんご農家への対応策をどうするか。
- 4) 廃園は病害虫の主源地となりうる。その対策をどうするか。
- 5) 畑作転換への支援策について何う。

## 7. 【11番 加藤 勝義 議員】

### 1. 未来づくり協働プログラムについて

- 1) この事業財源である県交付金2億円と合併特例債3億円、計5億円は詳細に積み上げたのか。根拠を伺う。
- 2) まんが美術館の利用者がここ数年5万人近くまで落ち込んだと説明があるが、目標来館者数を設定しているのか。
- 3) 原画を収集するための財源と見通しは。
- 4) 施設運営形態とランニングコストは。
- 5) 現在のまま活用するコンベンションホールに付随した控室の確保は。
- 6) 所信説明にある「まんがを通じた子供育成事業」とは。
- 7) 増田のまちなみと連携を図るとしているが、異なる文化を結びつける方策は。

### 2. 地域づくり協議会について

- 1) 地域づくり協議会の役割のひとつとして、「公共施設の設置・変更・廃止等について審議し、市長に意見を述べること。」とあるが、FM計画を含めて地域づくり協議会での意見の重要度は。



## 8. 【3番 立身 万千子 議員】

### 1. 横手市における地域医療の実態について

- 1) 医師・看護師を含め医療職の研修体制の状況を伺う。
- 2) 研修医の地域医療実習の状況を伺う。
  - ① 往診や講話の参加・見学や健康診断の実習等について。
  - ② 時間外勤務や当直回数は妥当か。

### 2. 医療介護総合確保推進法成立に際し、新公立病院改革プラン策定にあたっての課題について

- 1) 4つの機能区分徹底による両病院への影響はどうか。
- 2) 施設から地域へ、医療から介護へという流れのもと、病院事業はどう変わる方向か。訪問診療・訪問リハビリ・訪問看護・訪問介護をどう連携、充実させるか。
- 3) 経営形態の見直しについて。

### 3. 地域包括ケアについて

- 1) 地域包括ケア推進のために、関係者の会議がどのように展開されているか。

## 9. 【7番 土田 百合子 議員】

### 1. 公文書館構想について

- 1) 平成 24 年 12 月の一般質問の答弁では、「公文書については、ある程度は集約する必要があると思っている。利用できる建物としては、統合後の空き校舎も考えられる。いずれにしても、中間書庫的な施設が必要であり、情報収集を行い検討を進めていく」との答弁であったが、その後どのように検討がなされたのか。また、公文書館に対する市長の見解を伺う。

### 2. 子どもたちを地元農業の応援団に（学習指導要領に即した体験プログラム）

- 1) 新潟市アグリパークは、農業に触れ、親しみ、学ぶ場を提供する日本初の公立教育ファームである。園内では、農作物の収穫、家畜の乳搾りや餌やり、窯を使ったピザ作りなどを体験できる。また、農業体験や研修の宿泊施設も整備しており、「就農支援」や「6次産業化」をテーマに掲げ、農業を活性化させていく役割を担っている。当市においては、横手農業創生大学事業の「地域価値創造拠点整備構想（案）」が提出されているが、子どもたちに体験を通して農業の楽しさや大切さを学んでもらい、農業に対する理解を深める視点を取り入れてはどうか。

### 3. まんが美術館基本構想について

- 1) 県と市町村が地域活性化に取り組む「県市町村未来づくり協働プログラム」を活用して、「横手市増田まんが美術館」のリニューアルを県に提案している。ゆくゆくは「漫画の聖地」にするとの意向を示され、総事業費は4～5億円となっている。しかしながら、まんが美術館は築 20 年が経過し、施設の老朽化が進んで改修が必要と考える。リニューアルの予算の中に、空調またはトイレ改修といった改修費は含まれているのか。

### 4. 市民要望について

- 1) 沼の柵周辺の地域開発について。
- 2) 旧境町公民館の解体について。
- 3) 廃校となった学校の校長室に掲げられている歴代の校長先生の写真や生徒たちが授与された賞状、盾、トロフィーなどはどのような管理をするのか伺う。

## 10. 【24番 齋藤 光司 議員】

### 1. 十文字地域小学校統合について

- 1) 十文字地域の将来ビジョンと十文字統合小学校の場所選定は表裏一体と考える。町としての中核施設の移転は相当の準備期間と住民理解、また、それらを牽引していくリーダーシップと、そして地域としての覚悟を持つべきものとする。

一例をあげると、横手駅前からの平鹿病院の移転については、旧広域市町村圏組合からの各地区の負担も含めての事業予算の担保、また、跡地活性化のためのY<sup>2</sup>ぶらご建設、横手駅舎改築といった、少なくとも市のトップとしての市長の戦略と覚悟があったと思う。

しかし、いま十文字地域の中心部に位置する第一小学校の移転に伴う跡地利用として、十文字地域局に作らせた案には市長の考える十文字地域の将来像、また、考えや覚悟が全然感じられない。市長は跡地利用も含む十文字地域中心部の将来像をどう描いているのか考えを伺う。

そして、そのことが統合小学校立地候補地の比較論の中で、まちづくりとしてのどのような優位性をもってして十文字中学校周辺という考えなのか改めて伺いたい。

- 2) 統合小学校立地選定の中で、何よりも児童の安心・安全への配慮が一番でなければならないと考える。どの候補地についても、種々の危険性が想定されるわけだが、種々の危険の遭遇率が一定だとするならば、立地選定という中では分母（児童の数）の大きい地域に対しての配慮、対処が危険率を下げる合理的な考えだと私は思う。

将来予測でも児童数が一番多い第一小学校において、当局案における一番の心配が特に小学校低学年の登下校時の危険要因と子どもたちの負担の増大である。比較論の中で、歩く距離が第一小学校区の子どもたちにとって長くなるという事実。そして、その負担が増す子どもたちが第一小学校区において多くなること。また、学区の子どもが一番交通量の多い国道13号を横断しなければならなくなること。これらを心配するのは私だけではないと思う。

当局として、それらのことが私の杞憂にすぎないというだけの種々の危険に対しての具体的対処法を伺う。

- 3) 児童数が、2つの学年で16名以下になると複式学級になるわけだが、転入生などの外部要因がないと平成28年度に植田小学校で複式学級が出現する。地域としては初めてのことであり、保護者や地域の心配が非常に大きい。市として、どのように対応をして、その不安を払拭していくのか伺う。

- 4) 合併特例債の大部分を統合という形での学校再編に使ってきたわけだが、統合後の校舎や跡地をどうするのかというしっかりとした計画を持たなかったことが、廃校となった学校がある地域住民の閉塞感につながっていると思う。十文字地区の廃校予定の4校に対しては、きっちりとした計画のもとに進めたいと思う。当局の考えを伺う。

## 2. 雨水対策について

- 1) 雨水による浸水常態地に対しての市としての危機管理はどうなっているのか伺う。  
また、その解決方法や予算措置も含めて、どの部、どの係が責任を持って解決していくのか伺う。
  
- 2) 地域の雨水の受け皿としての堰の排水機能が、昨今の農業事情により著しく低下をしている。災害予防という観点から市としての考えと対応を伺う。

## 11. 【4番 斎藤 勇 議員】

### 1. TPPについて

- 1) 交渉の「大筋合意」は決着したかのような状況であるが、市長の所見を伺う。
- 2) 重要5品目での国会決議違反は明らかであり、当市への影響等を含む市長の所見を伺う。
- 3) 「協定案」の撤回と国会での承認・批准の中止の運動を広げる必要があると思うが、市長の考えを伺う。

### 2. 農業振興について

- 1) 強風によって、りんごの落果やキズで大きな被害を受けた農家への持続可能な経営への支援強化が望まれる（豪雪被害も含め）。市長の考えを伺う。
- 2) 転作強化の方向と米価下落の中で、田畑複合経営の所得向上のために戦略作物等への支援強化が欠かせないが、市長の所見を伺う。
- 3) 農業立市の潜在力を生かすべく多様な形態の発展のために、中山間地等の振興も視野に入れた施策が必要と考える。市長の考えを伺う。

## 平成27年12月定例会日程予定【会期17日間】

—— **本会議** 午前10時開会予定です・傍聴できます ——

- ◇11月30日(月) 〔開会〕議案上程 ほか
- ◇12月7日(月) 一般質問
- ◇12月8日(火) 一般質問
- ◇12月9日(水) 一般質問
- ◇12月16日(水) 委員長報告 ほか 〔閉会〕

— 傍聴席は本庁舎7階です —

### 委員会

- ◇11月30日(月) 一般会計予算特別委員会
- ◇12月10日(木)～11日(金) 常任委員会
- ◇12月16日(水) 一般会計予算特別委員会

横手市

検索

横手市のホームページにあります、

**議会**のコーナーをクリックしてください。

本会議録画・会議記録・市議会だよりを  
いつでもご覧いただけます。

### ◇ 横手市議会事務局 ◇

〒013-8601 横手市中央町8番2号（横手市役所 本庁舎 6階）

TEL：0182-32-2535 FAX：0182-32-6539

E-mail：gikai@city.yokote.lg.jp

横手市議会マスコットキャラクター

“しらとり議員”

